

職員施策提案会議の提案内容について（まとめ）

消防職員グループ	テーマ：地域防災力の政策・施策について
開催日時 平成 30（2018）年 12 月 14 日(金) 午前 9 時～午前 11 時 メンバー構成 10 人（5 人×2 グループ、男 10 人女 0 人） 【提案内容】 1. 街頭消火器から家庭内消火器設置へ移行し、使う人が管理・点検する仕組みを整備することにより市民の防災意識の向上につなげる 例）家庭内消火器の購入補助などにより、家庭内消火器の普及率を向上させる 2. 外国人に対する防災の PR により、災害弱者となりうる外国人の防災意識の向上につなげる 例）今後外国人労働者の増加が見込まれるため、企業による外国人労働者への防災教育の実施や外国人向けの動画やパンフレットを作成 3. 消防、救急活動の PR により、市民の意識の向上及び人員不足等問題の解決を図る 例）消防フェスティバルなどの開催、親子体験、職場体験の魅力度の向上 4. 市民と共に災害に備える 例）防災協力員(学生など)の育成や防災士の活用	
技能労務職員グループ	テーマ：現場からみえてくる多治見市の課題
開催日時 平成 30（2018）年 12 月 19 日(水) 午後 3 時～午後 5 時 メンバー構成 11 人（6 人×1 グループ・5 人×1 グループ、男 9 人女 2 人） 【提案内容】 1. 技能労務職員の高齢化に伴い、適切な技術の継承のために、技能労務職員の正規職員を雇用し人員の確保につなげる 例）多治見市の給食（アレルギー対応給食含む）についての情報発信（PR）をし、調理業務や給食に関心をもってもらうことで、調理業務への就職希望者を増やす 2. 人口減少対策として、子育て環境を整備する 例）親も子も楽しめる場所（大型ショッピングセンター等複合施設）の誘致や人が集まるイベントを継続開催する 3. 高齢化に対応するため、地域組織のあり方を見直す 例）町内会の区割りの見直しや、ボランティアの活性化により自治会の仕事を減らす	

保育士・幼稚園教諭グループ	テーマ：子育て・子育ての政策・施策について
開催日時 平成 31 (2019) 年 1 月 7 日(月) 午後 3 時～午後 5 時	
メンバー構成 12 人 (6 人×2 グループ、保育士 7 人幼稚園教諭 5 人、男 1 人女 11 人)	
【提案内容】	
1. 小さい子から高齢者まで様々な年代の人が集え、楽しめる公園を整備する	
例) アスレチック、ボールやキックボードなど、小学生でも思い切り遊べ、小さい子を抱える親が集える、家族で出掛けることができるような公園 (市外の四季の森、落合公園、鞍ヶ池公園のような公園)	
⇒魅力的な公園があることによって、親のコミュニケーションの場となり子育ての孤立化の解消にもつながる	
2. 子育ての孤立感を解消するために、つながる場づくりをすすめる	
例) ①地域での見守りや、地域の高齢者と子どもがふれあえるような場所や機会の整備	
②健診は全員が対象となるため、健診を利用する	
⇒すでに利用できる支援制度や交流の場なども多くあるため、情報がさらに周知できるような、情報の発信方法を検討する	